

文化財保存全国協議会（文全協）主催

第14回文全協歴史講座

— 故・白谷朋世さん追悼 —

文全協第49回西宮大会・遺跡見学会で
ガイド中の白谷さん（2018年6月）

文化財保存全国協議会（文全協）の常任委員・陵墓委員で、事務局の一翼を担って活躍いただいた白谷朋世さんは、昨年、59歳の若さで逝去されました。白谷さんの活躍を偲びつつ、彼女を追悼する歴史講座を企画しました。どなたでもご参加できます。ぜひ会場へお越しください。

日時 2024年 **2月24日（土）** 13:30～16:00

会場 **大阪市教育会館** 難波宮跡公園東隣り（TEL 06-6943-5021）

地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅 10番出口より東へ
JR環状線「森ノ宮」駅より西へ 各駅より徒歩約10分

事前申込不要
資料代 **500円**

もりおかひでと

講師：森岡秀人氏（公益財団法人古代学協会 客員研究員）

徳川再建大坂城の六甲山系近世石場研究の実態 — 白谷朋世さんの活躍を偲びつつ —

近世大坂城の石垣の約3分の1は、表六甲の芦屋・西宮地域から採石され、複雑な丁場割と割普請によって築造されています。その調査・研究を自治体として初めて手掛けたのが芦屋市でした。刻印・矢穴技法などを発掘された石材を通して50年の研究を進め、編年なども考古学的手法で解明しました。その詳細を講演します。文全協も10近くの学会とともに要所の保存運動を粘り強くおこなったところです。

おがさわらよしひこ

講師：小笠原好彦氏（滋賀大学名誉教授・文全協代表委員）

四隅突出墳丘墓の性格と陵墓にもみる前方後円墳の 造出しの機能を考える

弥生時代末の山陰地方で、四隅突出墳丘墓という特異な墳形が採用された本質と、古墳時代に築造された前方後円墳の陵墓などにも造出しが付設された要因と歴史的意義を検討します。

問い合わせ先 文全協事務局 杉田 義 TEL・FAX 0743-52-1404